

「健康長寿のまち」 11.6億円

■生涯活躍のまち静岡（CCRC）の始動 … 1,980万円

市内 2 地区において「健康長寿のまち」のモデル地域づくりを推進する。

1. 葵「おまち」地区（葵区中心市街地）
現在整備中の市街地再開発ビル（H30.10 オープン）と連携し、お試し居住事業や地域活動支援を推進する地域コンシェルジュ事業を実施
2. 駿河区「共生」地区（駿河区役所周辺地区）
静岡市地域福祉共生センターを開設（H30.6）し、地域福祉推進事業、地域・多世代交流事業等を実施



CCRCとは…
高齢者が安心して健康で元気に暮らし続けることができ、多世代のための「担い手となる」ことを基本とする仕組みが整った住まい・コミュニティ

■総合的な自転車安全教育の推進 … 1,879万円

- ・市内こども園へのキックバイク導入
- ・幼児期における自転車安全教育
- ・小中学生における自転車安全教育
- ・サイクルフェスの開催 等



2月

定例議会質問

石井孝治

Q：本市は観光レンタサイクルに取り組んでいるが、新しい交通機関として、一般市民にも使い易く、乗り捨てが出来るコミュニティサイクルも検討するべきであるが、どのように考えるか。

A：コミュニティサイクルは、まちなかに複数の自転車貸出拠点となるポートを設置し、いつでも・どこでも貸出と返却が可能で、観光や通勤・通学など多目的に利用できるシステムである。
平成 30 年度にはコミュニティサイクルの導入について、最新の運営システムや、世界各都市の動向を注視しながら、関係部局とともに議論を深め、一定の方向性を定めていく。



「まちは劇場」 5.7億円

■まちかどコンサートなど文化クリエイティブ活動の支援 … 6,300万円



1. ストレンジ・シードの開催
演劇ダンスを中心としたパフォーミングアーツイベント
2. まちは劇場コンサート事業
・まちかどコンサート（年 48 回）
・学校訪問コンサート等
3. 東静岡アートパーク事業
4. 市民参加型舞台公演事業

■まちは劇場演技スポットの整備・運営 … 2,320万円

誰もが日常的に「まち」の様々な空間において、大道芸・ダンス・音楽などの文化に触れられる事業を実施する。

- ・演技スポットの設定
- ・パフォーマンス審査会の開催
- ・パフォーマンスライセンス交付等



■パブリックビューイングによる清水エスパルスの応援 … 1,200万円

アウェイゲーム 5 試合のパブリックビューイングを開催。
場所：J R 清水駅東口広場、J R 東静岡駅北口広場



風間重樹

Q：昨年の本会議で市長は清水庁舎の移転について「市民の皆さんとの意見交換会を開催するなど、合意形成に努めていきたいと思う」と答弁したが、現状、合意形成は十分だとは思えない。意見交換会を開くべきだと考えるがいかがか。

A：庁舎建設検討委員会が議論をかさねてきた。合意形成は得られていると思う。したがって清水区で意見交換会を開く予定はない。

意見…市が昨年 9 月に市民二千人を対象に実施した市民アンケートでも、庁舎移転に対し疑問の声が多く寄せられている。強引に事を運ぶのではなく、意見交換会等を開催するなど合意形成に努めるべき。

志政会 しせいかい だより

志政会代表質問



平成 30 年 2 月議会において、池邨善満政調会長が志政会を代表し質問にたちました。質問では、市長の政治姿勢や行政マネジメント強化、重点事業について問い質しました。（以下、質問抜粋）

海洋産業クラスター形成ビジョンに基づく開発プロジェクトの進捗はどうか。また、市としてプロジェクトに取り組むねらいはなにか。

A 現在本市では、クラスター協議会を中心に、水産加工食品、造船・舶用機器、海洋観測機器の開発など計 9 件のプロジェクトを推進している。

短期的なプロジェクトとしては、水産加工食品の開発などが進められている。なかでも、地元缶詰メーカー山梨缶詰と静岡県立大学が産学連携で取り組む「おみや水産缶詰の開発」は、地元特産品のシラスを活用し、観光客をターゲットとしたお土産用の新たな缶詰の商品化とともに、販売促進に向けたレシピ開発を目指す。開発は順調に進み、本年 4 月には商品化が実現する予定であり、本市は、その後の販売戦略について、企業と二人三脚で取り組んでいく。



地元産しらすを用いた試作品

クラスター協議会を中心に、こうしたプロジェクトを率先して支援し、具体的成果をモデルケースとして広く示すことで、地域企業が新事業の創出を目指す自発的な取組を誘発していく事業環境を構築したい。

海洋産業クラスター事業とは…
本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた機械金属製造業や水産加工等の「技術」を組み合わせ、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進し、研究機能の強化・集積を図る。

小中学校への空調機器設置に向けた取組みについて
温度測定の結果について地域特性はどのようになっているか。また、施設整備に向け市内企業との連携は。

A 平成 28 年度夏に実施した、小中学校普通教室の温度測定結果では、全体の 95% の学校で 28 度を超え、73% で 30 度を超えていた。また、市街地と中山間地に区分し検証した結果、地理的な大きな温度の差は確認できなかった。

市内企業との連携については、平成 30 年度の空調設備導入検討調査の実施の際には、市内の空調機器メーカー等から情報や技術的ノウハウ等を得ながら、普通教室に最適な空調機器の仕様や、設置費及び維持管理費、民間資金の活用を含めた整備手法を検討していく。

H30 年度中に策定予定の「中小企業振興基本条例」の内容はどのように考えているのか。そして、どのように中小企業支援を進めていくのか。

A 中小企業の振興には、中小企業自身の努力はもとより、地域社会全体が、地域の発展のためには中小企業の振興が重要であることを理解し、支援していくことが重要。

中小企業には、経済の活性化や雇用の創出など、地域における自らの役割を認識し、主体的に経営改善に努めることが基本であることを規定。また、市や経済団体、金融機関などには、中小企業支援の役割を果たすことを求める。そして、市民には、地域商店の活用や地元企業の製品の購入などへの協力を求める。また、条例には、「事業拡大」や「事業承継」といった中小企業振興の基本的な施策を掲げる。

中小企業振興条例を原動力として、「がんばる中小企業」を後押しすることにより、本市の中小企業の振興、ひいては、本市の産業・経済全体の活性化に、力強く取り組んでいきたい。

平成 29 年度出資団体監査を受けて、市は「駿府匠宿」のあり方について、どのように考えていくのか。

A 匠宿は、本市地場産業と地域の歴史をテーマに、その情報発信拠点として大きな役割を果たしてきたが、近年、ツアーバスの距離規制の影響により団体客が減少するなど、来場者の増加対策が課題となっている。

今後の方向性としては、東海道の歴史や文化などの地域資源を積極的に活用し、「駿河東海道おんぼく」における体験型プログラム創出事業との連携や、地元との連携により、新たな客層を匠宿に取り込むことで来場者を増やし、伝統工芸の情報発信、地場産業の振興を図る。

また、別館については、アセットマネジメントの観点から機能の本館への集約を検討するなかで、地元による地域の情報発信の場としての活用も選択肢の一つとして検討していく。



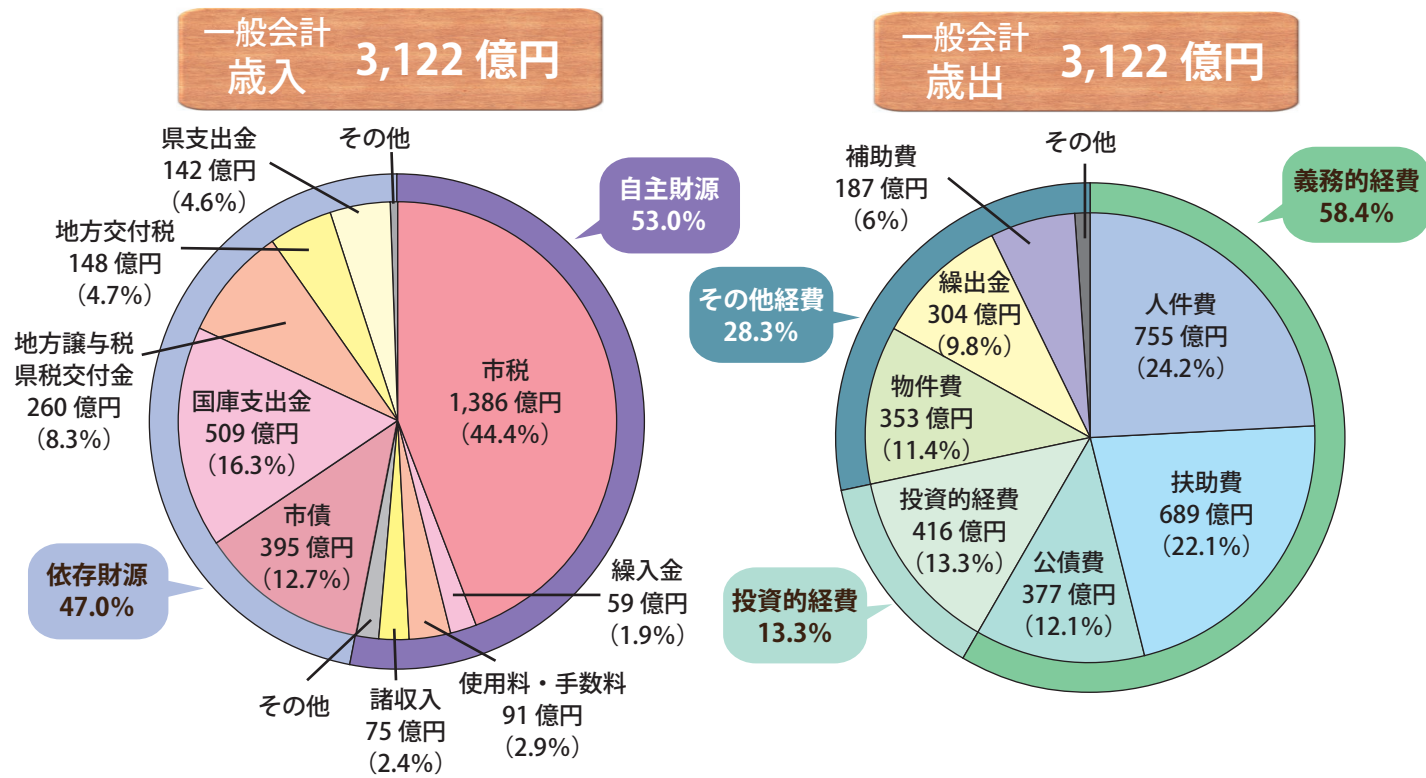


当初予算



平成 30 年度当初予算一般会計 3,122 億円（前年度比 +0.2%）

平成 30 年度当初予算の一般会計は 3,122 億円で、前年度比 6 億円（0.2%）増と過去最大規模となりました。歳入は、教職員の給与を市が払うようになり、県から税源移譲されたほか、企業業績が回復したことで、市税収入が 100 億円以上増えると見込んでいます。また、歳出は保育園の待機児童解消対策などで扶助費が膨らみ、全体の規模を押し上げています。借金にあたる市債は 395 億円を発行。平成 30 年度末の市債残高は 4,761 億円の見込みで、市民一人あたり 67 万 4,000 円の借金がある計算になります。



市民 1 人当たりの予算 447,245 円はこうに使われます



民生費
14 万 6,687 円
(+3,627 円)

私立こども園・保育園等給付費や自立支援給付費、障害児施設給付費の増加等により、前年度より約 20.7 億円増



教育費
6 万 9,786 円
(-724 円)

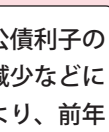
小中学校教職員の人員費や改修完了に伴う小中学校体育館大規模改修事業の減少等により前年度より約 7.3 億円減



土木費
6 万 4,197 円
(-2,121 円)



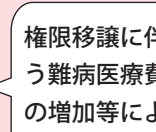
公債費
5 万 4,271 円
(-113 円)



衛生費
3 万 9,659 円
(+1,139 円)



公債利子の減少などにより、前年度より約 2.6 億円減



権限移譲に伴う難病医療費の増加等により前年度より約 6.7 億円増



総務費
3 万 9,581 円
(+593 円)

三保生涯学習交流館建設事業費の増加等により、前年度より約 2.9 億円増

その他 33,064 円

*一般会計のそれぞれの額を平成 30 年 2 月の推計人口で割りました。（カッコ内は前年度との差額）

歴史文化の拠点づくり

8. 0 億円

■歴史文化施設の本格着手 … 4 億 9,728 万円

2021 年秋以降の開館を目指す歴史文化施設の建設に向け、予定地の旧青葉小学校の解体、展示内容の検討等を行う。



歴史文化施設外観イメージ

- ・2018 年度 建設実施設計、旧青葉小学校等解体、展示実施設計など
- ・2019 ～ 20 年度 施設整備（建設工事、展示制作等）
- ・2021 年度 供用開始

■葵舟によるお堀の水辺の活用 … 1,200 万円



駿府城公園中堀での和舟（葵舟）運航を目指し、社会実験を行う。また、お堀の水辺活用計画を策定する。

H29 年乗船体験の様子

■市民文化会館（アリーナ・ホール）整備方針の策定 … 1,035 万円



現在の市民文化会館

老朽化により建て替えが検討されている市民文化会館の再整備にあたり、周辺環境整備や他事業との連携を見据えた、新たな施設（アリーナ・ホール）の整備方針を策定する。

■駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーションの開設 … 1,619 万円

日頃からランニングやウォーキングのコースとして活用されている駿府城公園周辺の環境を整備する。

【施設箇所】 中央体育館敷地内
【施設内容】 シャワー、ロッカー、パウダールーム、トイレ等
【供用開始】 2018 年 5 月 1 日（予定）



施設イメージ図

海洋文化の拠点づくり

3. 1 億円

■海洋文化施設の土地取得調査の開始 … 4,988 万円

日の出地区に整備予定の海洋文化施設の官民連携の可能性や、土地取得に関する調査を行う。

■水と光のプロムナードによる清水都心の演出 … 2,550 万円



実施イメージ（ドリームプラザ）

エスパルスドリームプラザの「ドリームプラザイルミネーション」や清水港線跡遊歩道の「灯り道」と連携し、港や巴川の水辺空間を「水と光のプロムナード」で演出する。

■新清水庁舎建設基本計画の策定 … 6,134 万円

2017 年度末に策定された「基本構想」を踏まえ、新たな清水庁舎の機能や事業手法等を示した「基本計画」を策定する。また、建設予定地における地質及び土壌汚染調査を実施する。



現在の清水庁舎

■清水港臨海部グランドデザインの策定 … 1,000 万円

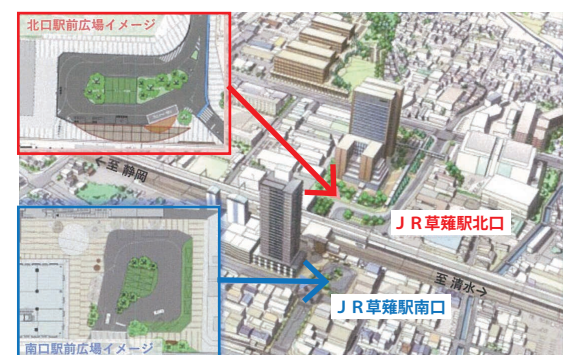
清水港を最大限に活かした「国際海洋文化都市」を具体的に実現していくため、清水港周辺全体の都市デザインの策定に着手する。

教育文化の拠点づくり

4. 4 億円

■JR 草薙駅南北駅前広場の完成 … 2 億 9987 万円

平成 28 年度から実施している草薙駅前広場の整備事業を完成させる。（情報案内板・ベンチ設置等）



■県大、常葉大と連携した文化スポーツイベントの開催 … 120 万円



常葉大学草薙キャンパスの 4 月開学に合わせて、県立大学と常葉大学の連携を後押しするイベントを開催する。

■東静岡アート&スポーツ/ヒロバの運営 … 5,600 万円

屋外アートやローラースポーツといった新たな文化・スポーツを市民に広めるとともに、様々なイベントを行う。

